

おばけ

sample

あうち

おばけ

sample

おうち

おぼけは きょうも さまよっています。
さみしそうな かなしそうな こを みつけては
いじわるをしたり こわがせたりするので。



そして おうちから おいだして
そこに すみこんでゆ...

あるひ おぼけは にわに ちいさな
さくらの きのある おうちを みつけました。



「しめしめ…
なんだか さみしそつな
けはうだね。」

おぼけが おうちの まどを のぞくと
ちいさな おんなのこが ひとりぼっちで
あそんでいました。



sample

「あし らうじやうじやう おいだしてやろっ!!」
おぼけは いじわるを しちやうと
たんらんぞうまわ。

おんなのこの なまえは さくら。
まだ じぶんのことを
さっちゃんと言っています。



「さっちゃん きまじは なじって
あそぼうかなあ。
そっだ。おかあさんが きららこいれた
さくらとほ たへなへさっちゃん」。

さっちゃんが てをあらって
もどってくると...
さくらんぼは だれかに たべられてしまっ
たねじか のいっていません。



せしちゃんほ しゃしゃ
しゃしゃ なさしてしました。
おぼほが しゃしゃり のしゃしゃ
しゃしゃ。しゃしゃしゃしゃしゃ」

さっちゃんは さくらんぼの たねを
ひとつ おにわに うめてみました。



おみずもあげて こえもかけて。
「たねさん。 はやく めをだしてね。
おおきく そだつのよ。」

あさめがさめて おにわを のぞくと
つちのうえに ちっちゃな はっぱが
かおを だしています。



ちっちゃな はっぱが
うれしくなりました。

つぎのひ さっちゃんがおみずを あげようと
おにわを のそくと かおをだしていた ちっちゃん
はっぱは どこにも みあたりません。



さっちゃんは しゃべって
しゃべって なさってしましました。
おぼけが こっそり のそってします。
「うめうめ。いむがってんねん。」

さっちゃんは のこっていた たねを ぜんぶ
おにわに うめました。



おみずも たっぷり あげました。
「じょうけんね おおまぐなぬのよ。」

「みっちゃん きょうは なにして
あそぼうかなあ・・・
そっだ。 さくらんぼの えを かこう！」



さっちゃんは まっかな さくらんぼが
なっている きを かきました。
おいしそうなのさくらんぼ。
たへられなかった さくらんぼ。

あさめがさめるときのうかいた
さくらんぼがまっくらくろに
ぬられていました。



せしちゃんほ　んせじん
じん　なごごまらまじだ。
おぼほが　ごごり　のぞごまらま。
「ごごごご...　ごごごごごごごごごご」

さっちゃんは おこりました。
「んなら しじわするものは だめれ??」
そのばん さっちゃんは めを とじて
こっそり おきていました。
こわくて フキフキ。



すると おへやの とびらが 「キィィー……」
「だあれ!!!」
さっちゃんは おもいきって めをあけました。
すると おほほも ひっくひっく…
「…おっ おほけだぞー!!」と
さっちゃんの めのまえに あらわれました。

「おっ おばけは 可愛いんだぞー!!」
さっちゃんはおどおどしているおばけを
みて うれしかったです。
「どうして うれわるばかりするの?」
「きまつてるだろ。おばけだからね。」
「おばけって うれわるなの?」
「いじわるだと おばけになるの?」



おばけは かんがえていますす…

「ん〜。わかんない。」

「じいじがきたの?」おんおんいじいじ..」

「ん〜。わかんない。」

おばけは いったい なにが したかったのか
なぜ ここにいるのか わからなくなっ
てしまいました。

「ねえ。いっしょに あそぼうよ。
つみきで なにか しゅつぷなう？」
さっちゃんがいいました。
おぼけは かんがえています。



「それも なんだか おもしろい！！」
おぼけと さっちゃんが つみきを
つみあげて あそんでいたら
ちいさな おうちが できあがりました。

すると さっちゃんが
うれしそうに いました。
「そうです。すむところが ならのなら
このおうちへ すんだらいいな。」



おばけは うれしくなりました。
そして はずかしそうに つみきの
おうちのなかへ はいっていききました。

さっちゃんも きょうは
なんだか さみしくありません。



さっちゃんは つみきの おうちを
ながめながら ねむりました。

「おはよう!!」
さっちゃんが つみきのおうちに
むかって こえを かけました。
しかし つみきの おうちから
へんじが ありません。



「あれ? いなの??」
それくらい おぼけは すがたを
あらわさなくなりました。
しずまりかえった おへやに
そよかぜが ふきこんできました。

そとは さくらの はなびらが
まっています。
そして さくちゃんの すがたも
どこにも ありませんでした。



そこには ちいさな さくらの きと
つちのなかから かおをだした ちいさな
はっぱがあるだけです。
なんだか おはなしでも
しているように みえるのでした。

いしだえほん No.0035

おぼけのおうち

2018年3月22日 初版発行

文・絵 小池三千世

印刷・製本・発行 石田製本株式会社
〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31
TEL 011-676-4520
<http://i-bb.co.jp/>

©2018 Michiyo Koike / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909377-34-0

「さみしい…」

かくせば かくすほど ひねくれる
なにをしたいのか どうしてほしいのか
さまよう ほんとうの きもち
おぼけが さがしているもの？

だれにでも あるはず

いっしょ
一緒のこころ

sample

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>



9784909377340

ISBN978-4-909377-34-0
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円+税



1928771012000



sample